



ゴールド仕様のオナーナット。当時のクラウンの
な雰囲気を再現。センターロック用のカラータイ
プロットが、最近では珍しく、非常に細く鋭い。

全アルミホークの18インチ専用160スリットホ
配置。組立て式ホイールであることと主軸す
るために、車両重量の増大は10%程度である。

スポークはセンターからリムへシングルに直し
、剛性を高め強度を確保。センター周辺はステン
ホイール裏で、衝撃吸収や高力が入っている。
るフラッグシップアクリアは。

Specification

18inch	7.5J-12.5J	0万1000円-10万8000円
20inch	8.0J-12.5J	0万1000円-11万7720円
21inch	8.5J-12.5J	11万1600円-14万3640円

カラーフラッグカクタリア、クロームメッキ

VIPのためのホイール 新生イミッツ、ここに降臨

✕ インターネットは国産高級セ
ダン。つまり、VIPのため
のホイール。今の時代はオールドジ
ャナルが当たり前に、ここでVIPに
限定したホイールはない。

モデル名はイミッツ。かつて一世
を風靡した説のオナーが、歴史を
すへり、創立40周年の節目の今
年、堂々の復活を遂げたのである。
新油気は当時のイミッツのままだ
が、デザインはもとより、金型もイ
チから完全新規製作。単純なりハイ
バル品とは違う、常に時代を意圖し
たモデルを提案し続ける、実にワ
クラし取り相ふだ。

主な変更点は3箇所。まず、ホイ
ールの数は10本減らして30本に。ま
ず、その中でローメンキの設置度
度を高めた構造自体にも手を入れ

新生イミッツはミリ単位でインセツ
トを選択できる2ピースに、サイズ
に関しては、先代は18インチの
もろろ、現在の主流である19
・20・21インチに改めている。

シンプル、普遍的、ドラスティック
なことを、色んな言葉で表した
くなるが、一種の魅力は不可侵な重
厚さであることは間違いない。そし
て、この重厚さを受け止められる
は、ワーク自身が宣言する通り、
う考えてもVIPセダンだ。

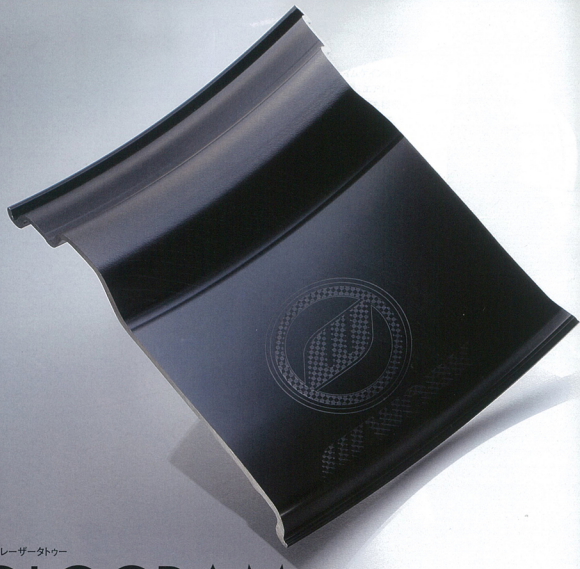
大切な節目に、VIPオーナーの
ために、ワークはイミッツを再臨さ
せた。そのためのホイールとは違
、簡単に履きこなせるデザインはな
い。だが、ハたれば圧倒的威圧感
味わる。これをオーナーはど
う料理するのか。楽しみでならな



ブラックカクタリア

WORK
TEL 03-68-2660 (日本) TEL 048-038-7555 (東日本)
http://www.work-wheels.co.jp

EMITZ
イミッツ



ホログラム リムレーザータトゥー

HOLOGRAM RIM LASER TATTOO



上はホワイトマテリアルに、下はブラックマテリアルに施工した例。人気のフラッシュリムサブロンマテリアルも、あまの色のリムに施工可能だ。

デカ限定、ゆえに稀少性の高さも魅力。VPOサーターは人と同じモノを奪う傾向が強いが、正にそんなこだわりはほぼ存在しない。

「このホログラムレーザータトゥーは、マテリアルがスチールやステンレスやタフポリッシュといった素材に、下はホログラムを自由に使えます。そして、それだけではないのが、ラシエ、オリジナルのロゴマークを施工することも可能。チーム名や車種名なども、指定形式のデータを用いるれば、それをリムにホログラム模様を描いてくれるのだ。」

「タトゥーは彫削度の低い技で、やっついている人数が多いVPOで、ドレスアップの上級者が多いVPOで進行してきました。まだ、増えています。ぜひ、ホログラムで楽しんでください。」

新 新 新 新 新 ホログラム仕様 のロゴアレンジ



SPECIFICATION

- 黒色20cm×横120cm幅内の場合
- 白印刷 1万8000円
- 黒色20cm×横120cm幅内の場合
- 白印刷 1万6000円
- ※75%の設置を目上時は5400円

今 までもない技をワークが新提案。それがホログラムレーザータトゥー。

「これは従来のあるリムレーザータトゥーの進化版です。今、ホログラム模様を採用したこと、かなりインパクトのある見た目になったと思います。レーザーワークの進化です。」

女中の星りレーザー照射によって、ホイールのリムに独特の輝きを描いていく。その仕上げは、新しくホログラム風でキラキラとしたカラーガラス風とした。人によってはカラーホログラム風、クルマの仕様、その感想も聞かせる。クルマの仕様、よってカスタマイズのアップにも期待がもたれます。

「このホログラムレーザータトゥーが入れられるのは新品車入時のみ。でも、2ピース3ピースも

今年も魅力的な新作を続々とリリースしたワーク。あまり知られていないが、人との違いを出したいオーナーたちに向けた個性的なファンオファレンスも、ワークは用意している。今年、新提案した新技はホログラム。この車やから、確実に違いを出す。

文 ● 田中 寛 Hiroe Tanaka 写真 ● 宮野 政博 Masaru Miyano